



入谷小校長室だより 顔晴れ！入谷っ子

2019年2月19日
一日入学特別号
TEL 46-2655
FAX 46-2654

学校教育目標：命とふるさとを大切にすることの育成

目指す児童像：《一はきはき 一てきぱき 一にこにこ》

☆いつもまなぼうとする子 ☆りりしくたくましい子 ☆やさしくたすけあう子
心も体も元気な子どもを育成するために 家族みんなではやね・はやおき・あさごはんを实践しよう!!

文責：校長 高橋 有

もうすぐ一年生！～入学までの心得～

一日入学及び入学説明会へのご出席、大変ご苦労様です。入谷小学校教職員一同、心より歓迎いたします。お子様の入学まで残り2ヶ月となりましたね。本日、出張のため不在していること申し訳ございません。ご挨拶を兼ねて、いくつかの入学までの心得を綴らせていただきます。

1 親の究極の役割は、快適な睡眠とバランスのとれた食事を子供に与えてください。

現在の育児問題として、子供の快適な睡眠が脅かされています。午後8時から9時くらいまでに寝付けない子供が増えています。

子供がたくましく成長するのは、脳から出る成長ホルモンのおかげです。成長ホルモンは、夜の10時から真夜中の2時までの間に働きが盛んになります。『寝る子は育つ』は本当です。

遅寝は体のバランスを崩す原因になります。遅寝になると、遅起きになります。そうすると、子供の脳を活発に働かせたり、心を落ち着かせるための「セロトニン」が神経から出にくくなるそうです。セロトニンは、毎日を健康に過ごすためになくってはならないものです。遅寝遅起きは、学校への行き渋りや学校でのふらふら立ち歩きの原因になるとも言われています。早寝早起きの習慣を身に付けさせてください。

また、朝食も大事です。食べないと、イライラ感が増すとされます。落ち着いて学校生活を送るためにも、バランスのとれた食事の提供をお願いします。

大きく変わる子育て環境ですが、不易の部分も多くあります。ご家族皆様で、「はやね・はやおき・あさごはん」を実践してください。



2 知育は大切です。(子供の探求心を大切にしてください。)

江戸時代は、5歳(満4歳半)から個別カリキュラム指導の寺子屋に通い、読み書きそろばんを習いました。ご承知の通り、現在の小学校は6歳を過ぎてからの入学です。文字や数字の読み方は、入学してから一斉指導します。

しかし、子供の探求心は6歳まで待っていることができないこともあります。お子さんに「文字の読み書きなどを教えてほしい」と言われたことはありませんか？子供がせがんだら、教えてあげてください。その際、ゆっくり順を追って、ほめながら進めてください。特に、自分の名前は、ひらがなで読み書きできるとういすね。お子さんも安心できると思います。

3 先行体験が十分な子供は学校生活を楽しめます。

ご家庭において、生活上のいろいろな体験を積ませてください。
例えば、アナログ時計を一緒に読んだり、小麦粉の重さを一緒に量ったりする体験もおもしろいですね。また、体力づくりやお手伝いなどの経験は、学校生活の土台にもなります。
とにかく、子供と一緒に楽しみながら体験することが大切です。是非、実践させてみてください。



4 小学校に入ってから特に留意していただきたいこと。(関係づくり)

(1) できるだけたくさんの友達と交流できる環境を整えてください。

来年度の入谷小学校の全校児童数は、現時点で68名です。学校では、小規模校ならではの全校交流活動も多くなっています。また、他校との交流活動も推進し、同学年との交流環境も整えていきます。



ご家庭におかれましても、南三陸町や入谷地区主催の社会体験活動など、できるだけたくさんの友達との交流が図られる場に参加させてほしいと思います。

(2) 親子のスキンシップを大切にしてください。

特に入学後の一定期間は、お子さんとのスキンシップを大切にしてください。寝る前の読み聞かせも、子供にとっては最高のひと時です。子供は、きっと満足して眠りにつくと思います。だっこしたり、おんぶしたり、一緒にお風呂に入ったり、寝たり、遊んだり等、子供が「もういいよ」というまでしてあげてください。

【人の幸せって、何だろう。一つの回答】

「女性歌人の第一人者 ^{かわのゆうこ}河野裕子さん死去」(8月13日夕刊)を読んだが、正直なところ最初は誰か分からなかった。だが、新聞を読んで「あの歌の作者だ」と気付いた。

引き出しから古い切り抜きを探し出した。^{おおおかしん}大岡信さんの連載「折々のうた」の2003年4月6日付だ。河野さんは「しっかりと飯を食はせて陽にあてたふとんにくるみて寝かす仕合せ」だった。切り抜きの裏には『長男7歳、次男5歳』のメモもあった。

私は短歌のことは全く分からない。しかしこの歌は、当時の私の気持ちにぴったり来た。日々、子供たちと一緒にご飯を食べ、公園に行った。夜はふかふかの布団に寝かした。それが子供たちに日々してあげた最低限のことだった。

河野さんの歌は「そんな単純なことの積み重ねが、どれだけ幸せなことか」に気付かせてくれた。

幼い命が奪われる事件が後を絶たない。日々のささやかな日常が、母として最も大きな幸せにつながっていることを改めて考えさせられた。

《2010年9月 新聞投稿(堺市中区在住:主婦)より》

最後に完璧な子育てをしなければとあせらないでください。人間みんな得意や不得意があります。足りないところを補うのも義務教育の役割です。小学校6年間、中学校3年間、計9年間の義務教育の始まりです。

どうぞ安心して、入谷小学校に入学させてください。4月の入学式、11名の児童が、元気に登校してくることを楽しみに待っています。